



有家中だよりNo8

令和7年 1月9日

南島原市立有家中学校

校長 本多 洋二

令和7年、新しい年のスタート

いよいよ3学期がスタートしました。
始業式で次のとおり話しました。

(抜粋)

短い3学期、充実したものにするために、有家中学校の3学期の取組キーワード、合言葉を「心づくり」とします。

<3学期合言葉キーワード>

「心づくり」

「心づくり」とは、色々なことに取り組むときに、どんな思いで行うのか考えて、心を込めてほしいということです。3学期は、自分自身の内面を育ててほしい。それが心づくりです。

「心づくり」の場として、次の2つは徹底してほしいと思います。

1つ目は「心をつなぐ挨拶、返事」です。心をつなごうという気持ちで（相手の目を見て、笑顔で、心を込めた大きな声で）挨拶・返事をしましょうということです。

2つ目は「心を磨く後始末、清掃、整頓」です。

使ったものは、感謝しながら、後始末を、心を磨く思いで、見つけ掃除を、そして、心を整えようという気持ちで（机の中を、ロッカーを、下駄箱を）整頓をしましょうということです。

このように、物事を行う時にどんな気持ちで行うかが大事で、その意識が人を成長させるのです。それを「心づくり」という言葉で表現しています。

皆さんがこの合言葉である「心づくり」を意識して、充実した3学期にしましょう。

こんな子いるかな？

～発達障がいの子どもたち（その2）～

前号では、発達障がいについて説明しましたが、本号では、学習障害（LD）について、説明します。LDはラーニング・ディスアビリティーズの略で、学習障害と訳されています。その言葉からも分かるように学習に大きな影響がみられます。

LDで有名なのが、俳優のトム・クルーズです。映画「トップガン」や「ラストサムライ」で主役を演じています。彼は、文字を読んだり書いたりすることが苦手なタイプのLDで、読字障害（ディスレクシア）と言われています。ですから、トム・クルーズは、台本を誰かに読んでもらったものを録音し、それを聞いて覚えるそうです。

LDの多くは、読字障害ですが、算数だけが苦手な算数障害や書くことが苦手な書字表出障害というのもあります。原因ははっきり分かっていませんが、脳の機能障がいと考えられます。

イメージ的には、本棚を思い浮かべてください。本棚が脳だとすると、ある段の棚だけが整理できないという感じになります。決して、本人の努力不足や家庭のしつけの問題ではありません。誰でも算数が苦手だったり、体育が苦手だったりするということはあるはずで、そういう苦手は、みんなあることであり、言わば個性です。ですから、LDもちょっと強い個性だと考えることができます。次号では、ADHDについて説明します。

決定！3学期学級委員

3学期は、1年間の中で最も短い学期ですが、1年のまとめの学期であり、次のステップへつながる大切な学期です。その大切な学期をリード

し、学級をまとめる委員が決定しました。

学級委員は、次のとおりです。(敬省略)

	組	男子	女子
1年	1	小松 拓真	小谷 瑠花
	2	高木 大輔	森本 りお
2年	1	内田 琉雅	神崎 優花
	2	増永琉輝亜	伊藤 羽叶
3年	1	中村 李桜	永石 眞矢
	2	土橋 優大	佐藤 由依

有家・西有家ライオンズクラブ表彰

薬物乱用防止に関する標語コンテストがあり、次の3名が、賞を取りました。8日に中村哲康会長から、校長室にて表彰と記念品授与がありました。

最優秀賞 本多 優衣
優秀賞 中村 李桜
" 山口 皐月



<今後の予定>

1月

- ・10日(金) 身体測定(全学年)
- ・14日(火) 学級委員任命式
生徒会引継ぎ式
- ・15日(水) PTA 役員選出会 19:00~
日大高校入試
島原中央高校入試
向陽高校入試
- ・16日(木) 鎮西学院高校入試
総科大附属高校入試
- ・17日(金) 創成館高校入試
- ・18日(土) 市リフトニス春季大会(個人戦)
- ・21日(火) 全校専門委員会
- ・22日(水) 全校集会(伝達表彰式)
全校専門委員会
- ・24日(金) 福工大附属城東高校入試
大牟田高校入試
- ・25日(土) 市リフトニス春季大会(ツグル)
- ・28日(火) 公立高校特別選抜入試

ブレイクコーナー

自分の考えや人の受け売りです。気軽にお読みください。

使えば使うほど豊かになる「心」

空気や水、太陽の光など、いつも当たり前前に存在しているものに対しては、それがどれほど大事なものでも、恩恵を感じる心はなかなか生まれてこないようです。

しかし、自分を支える様々な恩恵に気づくために、意識して目を向けるように心がけ、感謝することができれば、人は心が豊かになるのではないのでしょうか。

使わないと衰えるのは筋力や体力だけではありません。考える、気づくといった心の働きにもトレーニングは必要です。自分を支える様々な恩恵に意識を向けていくと、見えにくい恩にも気づくようになり、感謝の心が湧いてくるのではないのでしょうか。そうすることが自らの心を豊かにすることに繋がります。使えば使うほど豊かになる「心」日々心を豊かに育てていきたいものです。

3学期のキーワードは、「心づくり」です。食事すること、友達と遊ぶこと、家族がいること、学校に行けること、この何気ないことが当たり前前にできることに、感謝する生徒を育てたいものです。